

■京都市の目指す子ども像■伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り開く子ども

【学校教育において重視する視点】～中学校教育～

- 1 学習意欲を高める授業を通して、自ら学びに向かう力を育む
- 2 毎日の家庭学習により、自主的な学びにつながる自学自習の習慣化を図る
- 3 自他を大切にすることを育成する
- 4 「公共の精神」に基づく態度を育成する

【『生きる力』を育む基本的な考え方～知・徳・体の調和のとれた育成～

○「確かな学力」の育成

- (1) 社会とのつながり・接続を実感できる教科教育
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得
- (3) 課題発見・解決型の探究活動を通じた知識・技能の活用
- (4) 「主体的・対話的で深い学びの過程」の実現
- (5) グローバル化時代に対応する実践的な語力の育成
- (6) 理数教育の充実
- (7) LD等支援の必要な子どもの学力向上

○「豊かな心」の育成

- (1) 道徳教育の充実
- (2) 伝統文化や芸術を通じ、豊かな感性・情操を育む教育の充実
- (3) 規範意識の育成
- (4) 多様性を理解する姿勢の涵養
- (5) 支え合い高め合う集団づくりの推進と絆づくり

○「健やかな体」の育成に向けて

- (1) 運動やスポーツの実践と体力の向上
- (2) 保健教育の充実
- (3) 食に関する指導の推進
- (4) 飲酒・喫煙・薬物に関する指導
- (5) 安全教育の充実

■ 北野中学校

I 学校教育目標

「自他を大切にし、心豊かな未来を拓く力を育てる」

II 基本方針

1. 基礎基本の定着を図り、授業の【目標】【まとめ】【振り返り】を徹底する。
2. 家庭学習の積み重ねにより、自学自習の習慣化を図る。
3. 人権尊重の精神を基盤に、互いを認め合い励ましあう集団作り。
4. 規範意識を高め、地域社会に貢献できる意識と行動力を育てる。

III 重点課題

1. 学力向上を目指す指導方法や指導体制の工夫改善を図り、確実な進路保障
2. 「言語活動」を中心とした『主体的・対話的で深い学び』への取り組み
3. 個々の子供の課題を明確にし、その子の特性に合った学習支援の実施
4. 道徳教育の充実により、支え合い高め合う集団づくりの推進
5. 生徒の「命を守りきり、育む」教育の推進
6. 様々な心身の特性や考え方を理解し認識する力を育てる
7. 自らの健康、保持増進を図り、望ましい生活習慣を実践できる資質の育成
8. 教育者としての責任を自覚するとともに、その専門性を高める
9. 【よんきゅう絆プロジェクト（4中9小一貫教育）】の推進